

## 1. 適用範囲

本要領書は、ENRWシリーズコネクタの結線作業方法について推奨する。

ただし、アッセンブリメーカーで確立した方法があればこの限りでは無い。

## 2. 必要工具

- 一般工具
  - ・ ニッパ、スケール
  - ・ 電工ナイフ又はシース剥き
- 特殊工具
  - ・ 圧着工具 (日本製線株式会社 NST88)

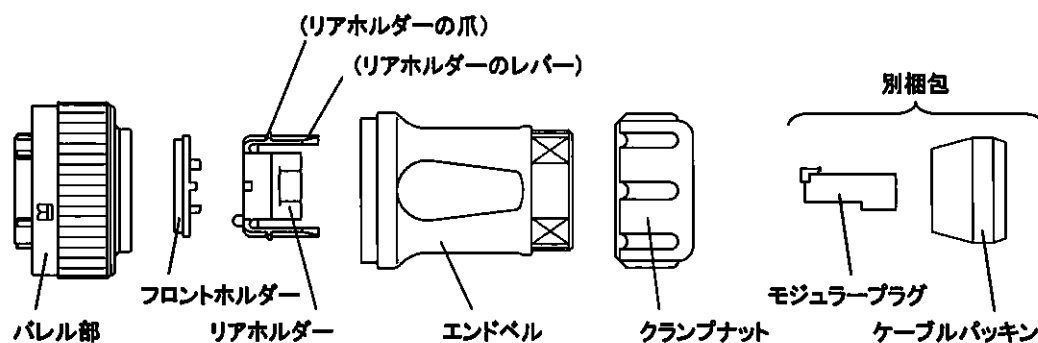
NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

## 3. 作業手順 (プラグ)

## 3. 1 分解

プラグの構成部品名確認



(1) エンドベルを回転 (左に回す) させ、バレル部より外す。

(2) クランプナットを回し、エンドベルより外す。

(3) バレル部から、次頁の要領でフロントホルダー・リアホルダーを外す。



リアホルダーのレバーを押しながら、フロントホルダーを軽く押し込む。

NANABOSHI PDF DATA

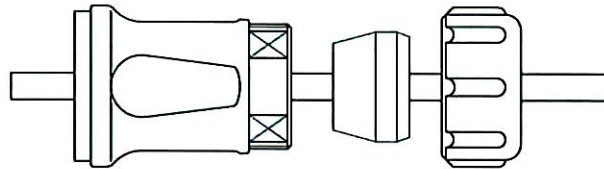
御 参 考 用

3.2 仮組立

(1) 分解した各部品を、下図の順にケーブルに通す。

(注) ケーブル径に適合したケーブルパッキンを使うこと。

各パッキンの適合ケーブル径については図面を参照のこと。



3.3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(注1) 製品に添付されたモジュラープラグを使うこと。

※結線ミス等によりモジュラープラグが不足した場合、別売りのモジュラープラグ (NSP6A90-S NO-LATCH ×5) を使うこと。

(注2) 弊社で販売するモジュラープラグ以外を使う場合には、右図のようにラッチを根元から切断すること。

※使用するモジュラープラグによっては、Cat6Aの通信性能を得られない場合があります。

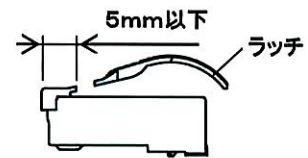
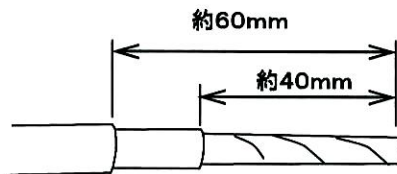


表1 結線表

Pin No.	1	2	3	4	5	6	7	8
T568A	白 緑	緑	白 橙	青	白 青	橙	白 茶	茶
T568B	白 橙	橙	白 緑	青	白 青	緑	白 茶	茶

※以下の手順はT568B結線での説明とする。

(1) 外側のケーブルシースを約60mm除去し、内側のシースを約40mm除去する。



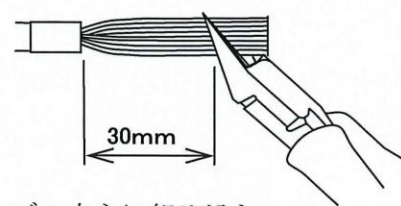
(2) アルミ遮蔽テープ、押え巻きテープ、十字介在を心線の根元で除去する。

軟銅線編組を折り返し、添付の銅テープを粘着面を内側にしてケーブルに巻き付ける。

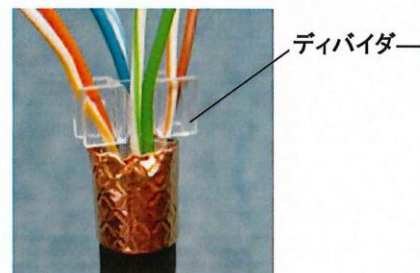
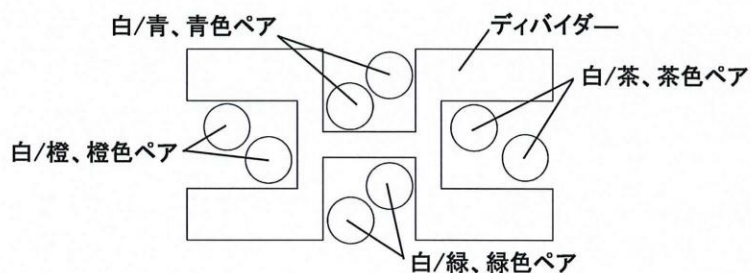


- (3) ケーブルシースの根元まで各対の撚りを戻し、2頁の結線表に従い心線の配列を揃える。

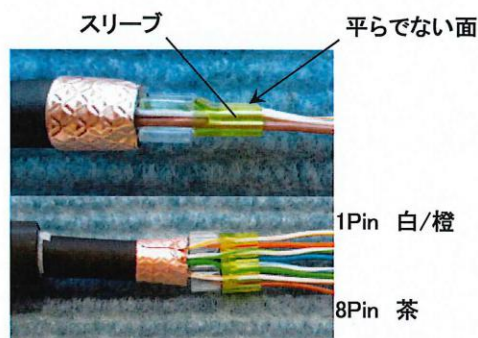
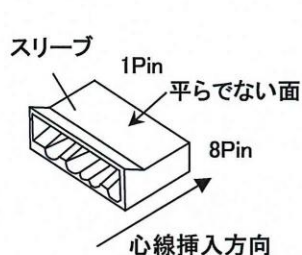
心線を一直列にし、ケーブル根元から 30mmほどあけて心線を斜めに切断する。



- (4) 添付のディバイダーを、各心線が下図の配置となるようにケーブル中心に組み込む。ケーブル根元とディバイダーの間に隙間が生じないように、しっかりと挿入する。

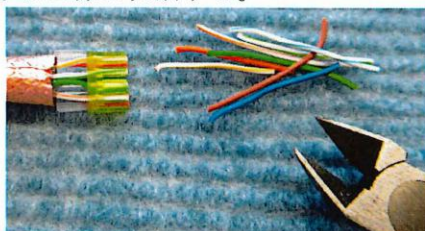


- (5) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるように添付のスリーブを挿入する。ディバイダーとスリーブの間に隙間が生じないように、しっかりと挿入する。



- (注) 配線に誤りがないこと。  
スリーブの向きを確認すること。

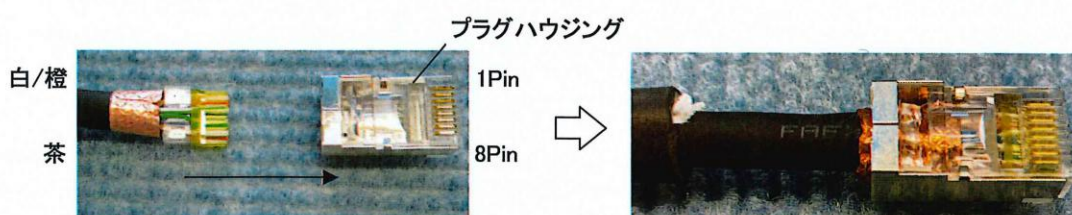
- (6) スリーブの先端で、余分な心線を切断する。



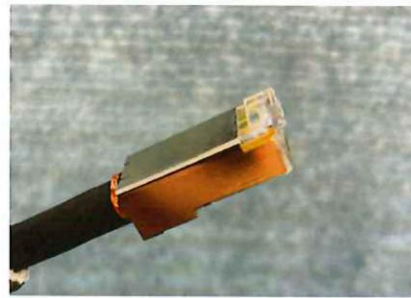
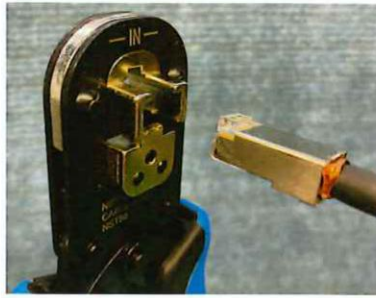
NANABOSHI PDF DATA  
御 参 考 用

- (7) 1Pinに白/橙、8Pinに茶色の心線となるよう、添付のプラグハウジングに挿入する。

(注) 心線の先端がプラグハウジングの内壁に当たるまで、しっかりと差し込むこと。

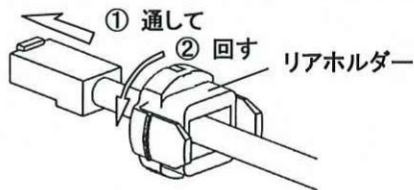


(8) 圧着工具NST88にプラグハウジング先端をしっかりと奥まで差し込み、一括圧着する。

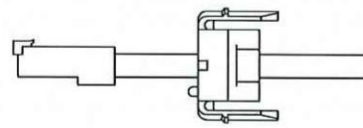


### 3.4 組立

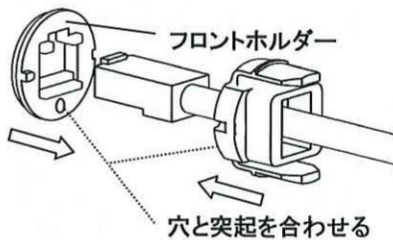
(1) リアホルダーにモジュラープラグを通し、リアホルダーを90度回す。



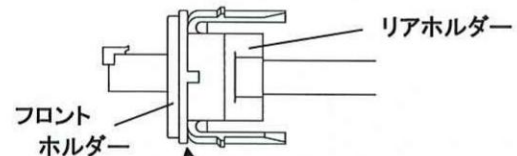
モジュラープラグとリアホルダーの向き



(2) フロントホルダーとリアホルダーで、モジュラープラグを挟む。

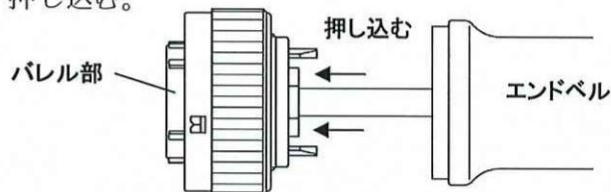


穴と突起を合わせる



隙間が生じる場合は  
(1)の図の向きを確認する

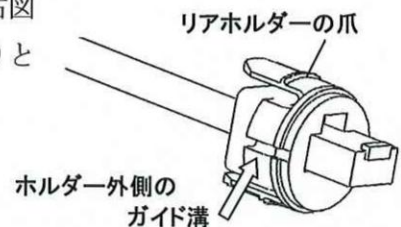
(3) バレル部内側のガイド突起と、ホルダー外側のガイド溝（右図参照）位置を合わせ、バレル部にリアホルダーをしっかりと押し込む。



押し込む

バレル部

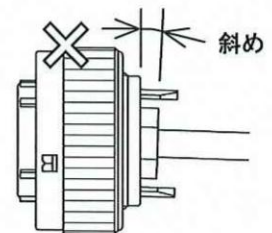
エンドベル



リアホルダーの爪

ホルダー外側の  
ガイド溝

(注) 爪がバレルに確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。バレルに対してリアホルダーが斜めに入っている場合、爪が入りきれていない事が考えられるので、注意すること。



斜め

(4) バレル部を固定し、エンドベルを締め付ける（右回りに回す）。

※推奨締め付トルクは6頁の表2、番号1を参照

(注1) エンドベルを斜めにねじ込まないこと。

(注2) バレル部を回して締め付けないこと。

(注3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ENRWシリーズ (Cat6A) コネクタ結線作業要領書	番 号	YENR-0074	5 / 6
---------------------------------	-----	-----------	-------

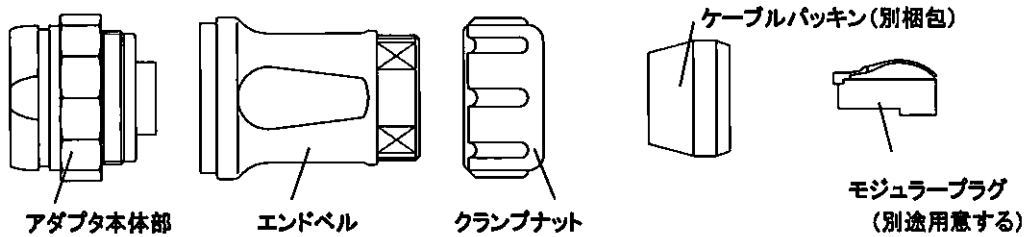
- (5) エンドベルを固定し、クランプナットを締め付ける。  
 ※推奨締付トルクは6頁の表2、番号2を参照  
 (注1) クランプナットを斜めにねじ込まないこと。  
 (注2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。  
 (注3) エンドベルを回して締め付けないこと。



#### 4. 作業手順 (アダプタ)

##### 4. 1 分解

アダプタの構成部品名確認

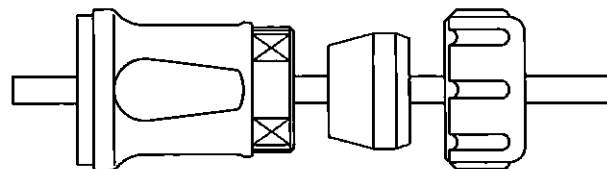


- (1) エンドベルを回転 (左に回す) させ、アダプタ本体部より外す。  
 (2) クランプナットを回してエンドベルより外す。

##### 4. 2 仮組立

- (1) 分解した各部品を、下記の順にケーブルに通す。

**NANABOSHI PDF DATA**  
**御 参 考 用**



##### 4. 3 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

- (1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

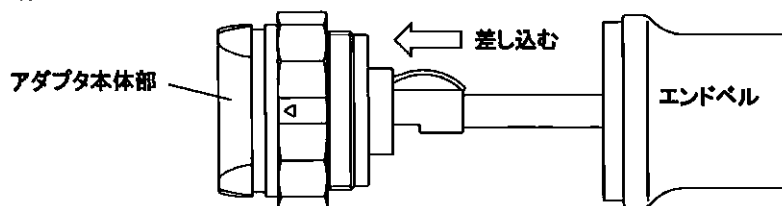
※事前に通信性能を確認すること。

(注) モジュラープラグのラッチを除去しないこと。

##### 4. 4 組立

- (1) アダプタ本体部にモジュラープラグを差し込む。

(注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。



(2) アダプタ本体部を固定し、エンドベルを締め付ける (右回りに回す)。

※推奨締付トルクは本頁下部の表 2、番号 1 を参照

(注 1) エンドベルを斜めにねじ込まないこと。

(注 2) アダプタ本体部を回して締め付けないこと。

(注 3) 構成部品が破損する可能性があるため、必要以上の力を加えないこと。

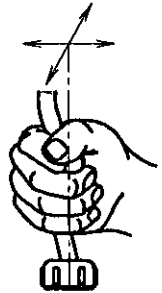
(3) エンドベルを固定し、クランプナットを締め付ける。

※推奨締付トルクは本頁下の表 2、番号 2 を参照

(注 1) クランプナットを斜めにねじ込まないこと。

(注 2) 右図の様にケーブルをなじませながら、ゆっくり締め付けること。

(注 3) エンドベルを回して締め付けないこと。



## 5. 作業手順 (レセプタクル)

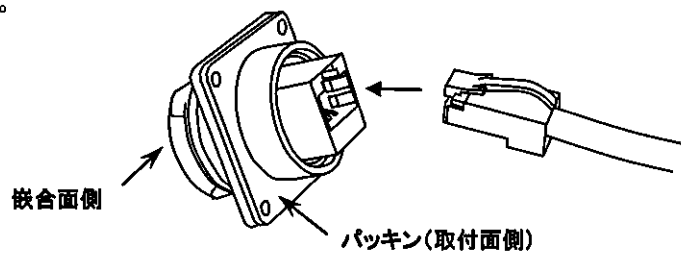
### 5. 1 RJ45シールドモジュラープラグへの結線

(1) 結線用に、別途市販のモジュラープラグを準備し、結線方法はモジュラープラグメーカーの推奨する方法に従うこと。

※事前に通信性能を確認すること。

### 5. 2 組立

(1) レセプタクルの取付面側にモジュラープラグを差し込む。



(注) 確実に入り込んだ事を確認するため、ケーブルを軽くひっぱり、抜けない事を確認すること。

表 2 各部品の推奨締付トルク

番号	締付作業場所	推奨締付トルク [N・m]
1	パレル部 (アダプタ本体部) - エンドベル間	1.5 ~ 2.0
2	エンドベル - クランプナット間	2.0

(注) 上記はあくまでも参考値であり、使用条件により仕様の防水性能を確保できない場合がある為、実際の使用条件下での評価試験を行うこと。

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用